

同推協だより

1999年9月20日
同推くん 第13号



海蔵地区同和教育推進協議会

四同研大会で 海蔵地区婦人会が提案！！

8月22日(日)、第21回四日市同和教育研究大会が
行われました。午後の分科会で海蔵地区婦人会の
今村まき江さんが「婦人会の人権学習」をテーマにした
提案をおこないました。

この分科会では80名近くの参加者が熱心に耳を傾ける中、
今村さんは最近5年間、婦人会が取り組んできた人権・
同和問題学習について触れ、「女性だけの集いで人権学習を
することで、女性一人ひとりに振りかかっている切実な
問題(女性差別)を解決するのによい機会となっています。」
と語りました。

提案の結びには「これから一人ひとりが人権について
考え、話し合える場を今後も作っていきたい。」と決意を
新たにし、会場から大きな拍手を浴びました。

第8回人権を考える集い

人権落語

笑う門には福きたる

口演 上方の超売れっ子断家

露の新治

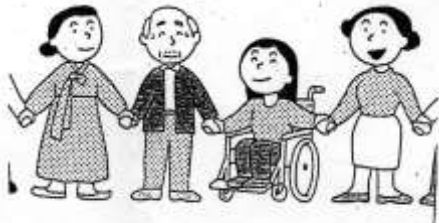
◇とき 十月九日(土)午後一時三十分開演
◇ところ 海蔵小学校体育館

入場無料
保育コーナーあり

99地区懇談会のご案内

西阿倉川 9月25日(土) 西阿倉川公会所
本郷・末永 10月2日(土) 海蔵南公会所
阿倉川 10月15日(金) 海蔵地区市民センター

松ヶ丘 10月30日(金) 松ヶ丘公会所
野田・清水 11月5日(金) 海蔵南公会所
みゆきヶ丘 11月12日(金) みゆきヶ丘公会所



寄稿 色々な差別から

啓発委員 児島 均

本来、同推協の役目は、いわゆる部落差別を無くすこと
とあります。しかし、秀吉の時代より永く続いてきた
「部落差別」は身分制度がなくなって百年を越える今日
でも少なくなってきたとはいえ、残念ながら残っており
ます。建物・設備などは法により整備され、ハード面
での差別はほとんど感じられなくなってきていると思
いますが、問題なのは人の心の中に潜む差別です。それは
今も残っております。

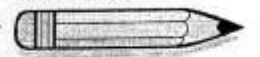
親から子、子から孫へと受け継がれてきた差別心を無
くすということは並大抵の事ではありません。

でも無くしてゆかねばならないのです。一步一步確
実に。そこでわたしたちは部落差別に繋がるとされる色
々な差別を様々な角度から見つめ、勉強して解決してゆ
かねばなりません。例えば、民族の差別、資産の有無に
よる差別、清め塩・六曜など昔からの習慣による差別。

「いじめ」による差別など、そここに色々な差別が
あります。これらはすべて心による差別です。でもこれ
らは、勉強し、相手を理解し、思いやる心が芽生えた時、
解決できるのです。また、この解決ができた時、部落差
別は無くなっていると思います。

差別を無くそうとする考え方はそれぞれでしょう。ど
のような考え方でよいではないですか。差別が減れば、
無くなれば。

気負うことなく、気楽に、気軽に勉強し、差別を感じ
る機会があれば「それは間違っていると思います。わた
しはこう思います。」と説得できます様に。



同推協活動についてのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
電話(31)3284 (海蔵地区市民センター内事務局)